

>> 北谷町地域子ども・子育て支援事業(13事業)の量の見込み検討資料

(1) 町全体：地域子ども・子育て支援事業の見込み

	実績			見込み				
	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6
時間外保育事業(人)★	628	681		784	786	778	768	770
放課後児童健全育成事業(低学年)(人)★	284	275	281	290	289	301	309	312
放課後児童健全育成事業(高学年)(人)★	28	48	41	134	128	125	120	120
放課後児童健全育成事業 計(人)★	312	323	322	424	417	426	429	432
子育て短期支援事業(ショートステイ)(人日)	-	-	-	14	14	14	14	14
地域子育て支援拠点事業(人回)★	14,703	14,769		11,639	11,590	11,664	11,725	11,848
一時預かり(幼稚園での一時預かり)(人日)				2,280	2,299	2,239	2,169	2,159
一時預かり(幼稚園での定期的な利用(預かり保育))(人日)	25,938	26,583		49,932	49,932	48,615	47,109	46,873
一時預かり(幼稚園以外)(人日)★	4,655	4,972		1,925	1,917	1,931	1,943	1,965
病児・病後児(0～5歳以下家庭のみ)(人日)	573	487		597	597	602	602	604
ファミリー・サポート・センター(就学児)(低学年)(人日)				673	671	699	718	724
ファミリー・サポート・センター(就学児)(高学年)(人日)	1,789	2,177		560	536	525	503	502
利用者支援事業(カ所)								
乳幼児家庭全戸訪問事業(乳児家庭全戸訪問事業)								
養育支援訪問事業								
妊婦健診事業								
実費徴収に伴う補足給付事業(保育)(人日)								
実費徴収に伴う補足給付事業(教育)(人日)								
多様な主体の参入促進事業(カ所)								
子どもを守るための地域ネットワーク機能強化事業(カ所)								

(2) 地域子ども・子育て支援事業の見込み方について

1) 時間外保育事業

○時間外保育事業の量の見込みは、国のワークシート試算ではR2が616人、R6が604人と算出されている。2号認定の利用者推計値の49.7%に当たる。

○本町の利用率実績では、H27～H30平均で認可保育所利用者の63.2%が利用しており、ワークシート値より高い。このため、現在の平均利用率を将来のニーズ割合として設定する。

時間外保育事業の見込み量調整

	(H29実績)	(H30実績)	(R1実績)	R2	R3	R4	R5	R6
ワークシート算出値	628	681		616	618	611	603	604
認可保育所利用者	1,036	1,066		1,241	1,243	1,231	1,215	1,219
時間外保育ニーズ割合	60.6%	63.9%		63.2%	63.2%	63.2%	63.2%	63.2%
時間外保育見込み量				784	786	778	768	770
	WSでの割合			49.7%	49.7%	49.7%	49.6%	49.6%

ワークシートの算出値との比較

	(H29実績)	(H30実績)	(R1実績)	R2	R3	R4	R5	R6
ワークシート算出値				616	618	611	603	604
調整算出値	(628)	(681)		784	786	778	768	770

調整値の算出法 (R2)

	延長保育の利用実績より (H27-H30ave)			量の見込み (R2)	
	①	②	③=①÷②	④	⑤=④×③
	延長保育実利用者 (実績、一日当たり)	認可保育所利用者	時間外保育ニーズ	R2 0～5歳保育 見込み	時間外保育見込み
時間外保育事業	2,533	4,007	63.2%	1,241	784

単位：人、%

2) 放課後児童健全育成事業

○放課後児童健全育成事業の量の見込みは、国のワークシート試算では低学年がR2で359人、R6が386人と算出されている。また高学年では、R2で134人、R6で120人の見込みとなっている。

○利用者は、共働き家庭が仕事の都合で毎日のように預けることが想定されるため、ニーズ調査において週1～3回の利用希望は控除して量の見込みを補正した。

ワークシートの算出値との比較（低学年）

	R2	R3	R4	R5	R6
①ワークシート算出	359	358	373	384	386
②週1～3回の利用希望率	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%	19.4%
③除外する人数(①×②)	70	69	72	74	75
補正算出値(①-③)	290	289	301	309	312

ワークシートの算出値との比較（高学年）

	R2	R3	R4	R5	R6
①ワークシート算出	134	128	125	120	120
②週1～3回の利用希望率	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
③除外する人数(①×②)	0	0	0	0	0
補正算出値(①-③)	134	128	125	120	120

※学童＝伸びは9人と少ないが、人口減も影響するので伸びはあまり見込めない。

H31年281人、R2年290人＝9人増
待機27人のため、H31年は308人必要だった。
希望率は28.7%
R2年290人÷1,024人＝28.3%

3) 子育て短期支援事業(ショートステイ)

○子育て短期支援事業は、現在未実施である。量の見込みは、国のワークシート試算ではR2からR6まで、各年14人日と算出されている。町では本事業未実施であり、ファミリー・サポート・センターで対応している。現在の実績値について利用実態を確認し、量の見込みについて検討する。

4) 子育て支援拠点事業

○子育て支援拠点事業の量の見込みは、国のワークシートでは教育・保育施設等を利用している人も含めてニーズを把握し算出している。実際、保育所を利用している人が本事業を利用することはほとんどないと考えられるため、専業主婦家庭等や育休中の利用ニーズに基づいて、補正を行った。

○補正算出の結果、R2 では年間 11,639 人日、R6 では年間 11,848 人日が利用すると見込まれた。保育施設等利用者が増加すると本事業の利用者は減少することが考えられ、利用見込みが現在の利用延べ人数より下がっている。

①専業主婦家庭のニーズより量の見込み

①R2のタイプC', D, E', Fの利用量の見込み

	家庭類型別児童数(R2)		利用意向(日)	=	ニーズ量(人日)
タイプC' フルタイム×パート	59	×	4.500	=	267
タイプD 専業主婦	108	×	3.935	=	425
タイプE' パート×パート	0	×	0.000	=	0
タイプF 無業×無業	0	×	0.000	=	0
					(月間)計 692
					(年間)計 8,308

②育休中の人の利用ニーズより量の見込み

②-1 ニーズ調査より育休中の割合の補正

	ニーズ調査より		
	①	②	③=②÷①
育休中の人の	家庭類型別児童数(調査より)	育休中の人の	補正した育休割合
タイプA	36	0	0.00%
タイプB	232	38	16.38%
タイプC	100	3	3.00%
タイプE	2	1	50.00%

②-2 R2の育休中における本事業の利用量の見込み

	家庭類型別児童数(R2)		補正した育休割合③		利用意向(日)	=	ニーズ量(人日)
タイプA ひとり親	32	×	0.00%	×	1.800	=	0
タイプB フルタイム×フルタイム	535	×	16.38%	×	2.986	=	261
タイプC フルタイム×パートタイム	205	×	3.00%	×	2.622	=	16
タイプE パート×パート	5	×	50.00%	×	0.000	=	0
							(月間)計 278
							(年間)計 3,331

拠点事業	R2	R3	R4	R5	R6
ワークシート算出	34,620	34,473	34,693	34,876	35,242
タイプD等の見込み量①	8,308	8,272	8,325	8,369	8,457
育休中の見込み量②	3,331	3,317	3,338	3,356	3,391
調整算出値(①+②)	11,639	11,590	11,664	11,725	11,848

単位：人日（年間延べ利用日数）

5) 一時預かり(幼稚園での一時預かり)

○幼稚園での在園時の一時預かり(預かり保育ではない)の量の見込みは、1号認定における一時預かりニーズより算出している。国のワークシートでは、R2で年間2,280人日、R6には2,159人日と算出されている。

<幼稚園の一時預かり(不定期利用)の量の見込み>

	R2	R3	R4	R5	R6
タイプC' フルタイム×パートタイム (下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	202	204	199	192	191
タイプD 専業主婦(夫)	2,078	2,096	2,040	1,977	1,967
タイプE' パート×パート (いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0	0	0	0	0
タイプF 無業×無業	0	0	0	0	0
見込み量算出値(ワークシートより)	2,280	2,299	2,239	2,169	2,159

6) 一時預かり(幼稚園における2号認定教育ニーズの定期的な利用)

○幼稚園を利用する2号認定教育ニーズ分については、預かり保育を受けられる体制により対応することとなる。

○現在も預かり保育を実施し、共働き家庭のニーズに対応している。国のワークシートでは、R2で年間49,932人日、R6には46,873人日と算出されている。また、共働きに対応するため土曜日の実施も検討する必要がある。

<2号認定による定期的な利用>

	R2	R3	R4	R5	R6
タイプA ひとり親	6,521	6,521	6,349	6,153	6,122
タイプB フルタイム×フルタイム	27,390	27,390	26,667	25,841	25,712
タイプC フルタイム×パートタイム	16,021	16,021	15,599	15,115	15,040
タイプE パート×パート	0	0	0	0	0
見込み量算出値(ワークシートより)	49,932	49,932	48,615	47,109	46,873

7) 一時預かり(保育所等における一時預かり)

○保育所等における一時預かりの量の見込みは、国のワークシートでは、教育・保育施設を利用している人のニーズも含まれて算出されている。実際は保育所等に入所している人が一時預かりを利用すると考えにくいいため、この点を考慮して見込みの補正を行った。

○補正した結果、R2 では1,925 人日、R6 では1,965 人日の見込みとなっている。

■保育施設等を利用していない人のニーズとして算出

	家庭類型別 児童数(R2)		利用意向 (日)		幼稚園の在園児を対象と した一時預かり、ベビー シッター等ニーズ(人日)		ニーズ量 (人日)
タイプC' フルタイム×パートタイム (月64時間以下)	114	×	6.96	×	202	=	590
タイプD 専業主婦	250	×	13.60	×	2,078	=	1,318
タイプE' パート×パート(月64時間以下)	0	×	0.00	×	0	=	0
タイプF 無業×無業	13	×	1.33	×	0	=	18
						(年間)計	1,925

単位：人、日、人日 利用意向は1人当たり年平均利用希望日数 ※公立幼稚園在園児の不定期利用はなしとして算出

ワークシートの算出値との比較

拠点事業	R2	R3	R4	R5	R6
ワークシート算出	12,917	12,936	12,829	12,693	12,741
調整算出値	1,925	1,917	1,931	1,943	1,965

単位：人日（年間延べ利用日数）

○上記によると、1日当たり7人程度利用する計算となる。※1,925人日÷12ヵ月÷月25日稼働として

8) 病児・病後児保育

○病児・病後児保育の量の見込みは、国のワークシート試算ではR2が4,211人日、R6が4,129人日と算出されている。

○本町の利用率実績では、H27～H30平均で0歳～8歳児人口の19.8%が利用しており、ワークシート値より低い。このため、現在の平均利用率を将来のニーズ割合として設定する。

調整値の算出法 (R2)

	(H27-H30ave) 病児保育の利用実績より			量の見込み (R2)	
	①	②	③=①÷②	④	⑤=④×③
	病児保育 利用者試算	0歳～8歳児人口	病児保育ニーズ	推計児童数 (0歳～8歳児人口)	病後児保育 の見込み量
病児保育事業	2,505	12,677	19.8%	3,021	597

単位：人日、%

ワークシートの算出値との比較

病児保育	R2	R3	R4	R5	R6
ワークシート算出	4,211	4,222	4,176	4,119	4,129
0歳～8歳児人口	3,021	3,023	3,044	3,046	3,059
病児時保育利用率	19.8%	19.8%	19.8%	19.8%	19.8%
調整算出値	597	597	602	602	604

単位：人日（年間延べ利用日数）

9) ファミリー・サポート・センター(就学児)

○就学児のファミリー・サポート・センターの量の見込みは、小学生調査で把握されるニーズより算出されている。

○低学年は、R2では673人、R6では724人と増加が見込まれています。また、高学年の方は、R2で560人、R6では502人であり微減すると予測されます。低学年と高学年を合わせると、R6では1,226人となり、H30の実績である2,785人より減少すると算出されています。

■ (低学年) 就学児のファミリー・サポート・センターの利用意向率

算出対象の家庭類型	利用意向率 (割合)	利用意向日数 (日)	利用意向
タイプA ひとり親	0.014	5.0	0.1
タイプB フルタイム×フルタイム	0.000	0.0	0.0
タイプC フルタイム×パートタイム (月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0.000	0.0	0.0
タイプC' フルタイム×パートタイム (下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0.000	0.0	0.0
タイプD 専業主婦(夫)	0.000	0.0	0.0
タイプE パート×パート (双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0.000	0.0	0.0
タイプE' パート×パート (いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0.000	0.0	0.0
タイプF 無業×無業	0.000	0.0	0.0

■ (高学年) 就学児のファミリー・サポート・センターの利用意向率

算出対象の家庭類型	利用意向率 (割合)	利用意向日数 (日)	利用意向
タイプA ひとり親	0.016	2.0	0.0
タイプB フルタイム×フルタイム	0.000	0.0	0.0
タイプC フルタイム×パートタイム (月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0.013	1.0	0.0
タイプC' フルタイム×パートタイム (下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0.000	0.0	0.0
タイプD 専業主婦(夫)	0.000	0.0	0.0
タイプE パート×パート (双方月120時間以上+下限時間~120時間の一部)	0.000	0.0	0.0
タイプE' パート×パート (いずれかが下限時間未満+下限時間~120時間の一部)	0.000	0.0	0.0
タイプF 無業×無業	0.000	0.0	0.0

ファミサポ	R2	R3	R4	R5	R6
低学年	673	671	699	718	724
高学年	560	536	525	503	502